

第2回 幌延町地域公共交通活性化協議会 会議記録

日時：令和5年12月20日（水）13：30～15：00

場所：幌延町役場2階大会議室

1. 開会

委員の変更

- ・幌延町社会福祉協議会、ヤマト運輸（株）幌延営業所に変更あり。
- ・10月より役場機構改編により、部署名が変更となった。

(1) 第1回協議会について

幌延町地域公共交通計画の全体構成（資料1参照）

第1回協議会開催以降の意見について（資料2参照）

山下事務局員より説明

2. 協議事項：会長議事進行

(1) 第4章 地域公共交通の課題整理について（資料3参照）

(2) 幌延町地域公共交通計画 計画（案）概要について（資料4参照）

（株）シン技術コンサル榊原氏より説明

(3) 地域公共交通体系方針について（資料5参照）

山下事務局員より説明

(4) 懇談（質疑）

○オブザーバー

- ・路線バス留萌幌延線の利用状況と地域間幹線系統路線としての維持についてどのようになっているか。また、JR宗谷本線の利用促進策についてどのように考えているのか。

－榊原氏（（株）シン技術コンサル）

- ・留萌幌延線については、国・北海道の補助を受ける地域間幹線系統路線の基準は15人以上で、R3年度実績で留萌幌延線の1日当たりの輸送量は23.3人と基準を満たしているが、輸送人数は減少傾向にある。

－山下事務局員

- ・留萌幌延線の利用の大半は天塩高校への通学利用のため、学生の数により乗車密度が変化すると考える。
- ・路線バスについて町単独ではなく、沿線自治体で乗車密度を向上させる施策を検討する必要があると考えるが、利用者減少が目立ってきた場合には、町として対応せざるを得ないと思う。
- ・JR宗谷本線についても同様で、町単独ではなく沿線自治体で利用促進策の検討が必要と考えている。
- ・JR北海道の取り組みに町として協力できることはないか検討する。

○委員

- ・幌延町の規模（2,200人）では乗合タクシーが相乗りにならず、ハイヤー利用になってしまうのではないかと。

ー山下事務局員

- ・乗合タクシーを運行しても、ハイヤーと同様になってしまうことを予想している。
- ・実証運行を通じて、効率的なルート・時間帯を検討する。

○委員

- ・収支率について、今後デマンド交通等を有償化して運行費用を圧縮していくということか。
- ・一般的に行政負担率を目標とする場合、行政負担率下げていく設定になると思う。基準になる金額が提示されていないと、状況によって、負担額が増えているとみられてしまう可能性があるのではないか。

ー山下事務局員

- ・今後、デマンド交通等を有償化することで運行収益を見込み、運行費用の圧縮をしたいと考えている。
- ・今後は高齢化が進むことから需要が増えると考え、収支率の向上を見込んでいる。
- ・行政負担率については、高齢化が進むにつれて負担額が増加するが、運行収益と国の補助制度を活用することで、行政負担を圧縮させる方向するために今回の計画を検討している。

○委員

- ・運行区域内の連絡施設間の運行はデマンド交通で対応するのか。デマンド交通の場合は天塩ハイヤーに対応してもらおうということによいか。
- ・「連絡施設間」とすると、例としてビジターセンターからトナカイ観光牧場に行く場合に対応可能なか整理が必要だと思う。

ー山下事務局員

- ・デマンド交通の対応については今後の検討課題とする。
- ・今回の連絡施設の例示は「案」のため、今後検討を進めていき、連絡施設間の移動について整理する。

○委員

- ・現在、政府でライドシェアの導入検討を行っているが、今回の計画に盛り込むのか。また、ライドシェアドライバーを新規雇用の運転手に採用含むのか。

ー山下事務局員

- ・正式決定した制度ではないため、今回の計画には盛り込まない。新規雇用の運転手についても、地元交通事業者で就業する方を対象に考えている。

○委員

- ・空知のある自治体で、町に交通事業者が1社しかなく人員のやりくりがつかないという事例があるようだ。交通事業者の状況についても考慮する必要があると思う。

ー山下事務局員

- ・幌延地区に関してもデマンド交通の仕組みを構築するという方針を掲げているが、実証運行が可能なのか確認しながら、進めていかざるを得ない状況だ。

○委員

- ・基本方針について、公共交通に関する内容しか記載がないため、「高齢者の外出手段を確保する」等の記載があったほうがよいと思う。また、高齢者の自家用車運転について「運転手テクニックを過信している状態」という表現は誤解を招きかねないため、表現方法を検討した方がよいと思う。

- ・運転免許自主返納者数と運転手の新規雇用者数について、具体的な数値の設定は考え直した方がよいのでは。数値設定に関しては、無理のない範囲（例：新規雇用募集を〇回するなど）で設定した方がよいのでは。

ー山下事務局員

- ・検討課題とする。

○オブザーバー

- ・スーパーマーケットが日曜日定休となり、タクシー会社の営業時間も短縮される。これに伴い、移動手段の確保が必要ではないか。
- ・天塩町が天塩高校へのスクールバス運行を行っているが、豊富高校も（運行主体は分からないが）スクールバスを運行している。近隣の豊富町・天塩町の情報もあったほうがよいのではないか。
- ・JR宗谷本線について、町の観光資源として秘境駅として魅力を発信していくと打ち出しているが、路線の維持確保が一番重要だと考えていて具体の施策を記述した方がよいと考える。
- ・まちの拠点を検討しているので、創生会議との整合性も考慮されたい。

ー岩川会長（副町長）

- ・当初と状況が大きく変わっているため、次回までの検討事項とします。

○委員

- ・住民目線の意見として、スクールバスの一般混乗を実施していることを知られていないのではないかと。主目的は児童生徒の登下校ですが、移動手段として活用可能なことを周知してみてもいい。

○委員

- ・課題・基本方針・公共交通具体施策の関係性がわかる別途概要版（一覧図、概要図等）を作成した方がよいのでは。厚真町などが参考となる。
- ・地元交通事業者に了承を得て、住民による自家用有償運送を行っている点がむかわ町の計画と非常に似ている。むかわ町の計画を参考にしてみてもどうか。

ー会長

- ・頂いた意見も検討の上、資料を次回までに作成する。

(5) 今後のスケジュールについて

次回の協議会開催は2月以降を予定。

(6) その他（質疑等）

特になかった。今回の協議会で気になることがあれば、様式を添付しているので、記載の上、事務局へ提出してほしい。

(了)